

科目名		取穴実技 2							年度	2025	
英語科目名		Location the Point Practice 2							学期	後期	
学科・学年		鍼灸科 2 年次		必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員		山下俊樹		教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		
【科目の目的】 1 年次に学んだ 1 4 経絡について体表解剖を復習しながら、正確な取穴部位を理解していく。筋肉や動脈、神経の走行との関連を意識しながらツボの名称と筋骨格系の部位をリンクさせ総合的に理解・運用できるようになることを目標とする。 鍼灸治療を行う上で必須となるツボの名称や取穴部位の再確認を行い、五要穴や五兪穴、その他ツボの役割や名称、解剖学的な深部組織との関係を整理し理解することを目的とする。											
【科目の概要】 人体のパートごとに経脈のワクをはずし解剖的ポイント、深部組織などを復習しながら、経穴の取穴部位を確認していく。同じ筋のうえにあるツボ、同じ動脈のラインにあるツボなど、机上で覚えた知識を実際の臨床～刺鍼・灸などで運用できるようにトレーニングし、毎週授業の中で小テストを実施、前週に行った内容の再確認を行いながら、経穴に対する苦手意識をなくし、ツボの知識を積み上げていく。											
【到達目標】 A：各経脈に所属する経穴を覚える B：取穴の仕方を覚える C：解剖学的局所部位と経穴の関係が理解できる D：筋肉と経穴の関係を理解できる E：経脈の枠を外し、パートごとに経穴を整理できる											
【授業の注意点】 授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック 評価		レベル 5 優れている		レベル 4 よい		レベル 3 ふつう		レベル 2 あと少し		レベル 1 要努力	
到達目標A 各経脈に所属する経 穴を覚える		全て暗記している		要穴程度は取穴部位ま で暗記している		所属は覚えているが取 穴部位は曖昧		所属も取穴も覚えてい ない		経穴を読めない 正式な経脈名が覚えら れない	
到達目標B 取穴の仕方を覚える		全て正確におぼえてい る		2 / 3 程度		1 / 2 程度		ほとんど覚えていない		全然覚えていない	
到達目標C 解剖学的局所部位と 経穴の関係が理解で きる		全身の局所解剖部位と 経穴の関係が理解でき ている		2 / 3 程度		1 / 2 程度		ほとんど覚えていない		全然覚えていない	
到達目標D 筋肉と経穴の関係を 理解できる		全身の筋肉と経穴の関 係が理解できている		2 / 3 程度		1 / 2 程度		ほとんど覚えていない		全然覚えていない	
到達目標E 経脈の枠を外し、 パートごとに経穴を 整理できる		全身の各パートで経脈 ごとに経穴を理解しそ の関係を整理できる		2 / 3 程度		1 / 2 程度		ほとんど覚えていない		全然覚えていない	
【教科書】 東洋療法学校協会経絡経穴概論 / 医歯薬出版株式会社 解剖学											
【参考資料】											
【成績の評価方法・評価基準】 期末試験を中心に平常授業での態度、課題提出状況などを加味して評価する。											
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											

